

豊川市の公共交通の課題について

本市の課題

旧市町で運行していたバス等をそのまま引き継いで運行実施しているため、その運行目的や運行経路などについて、各バス事業の間で連携が図られておらず、各地域内で運行しているにとどまっている。そのため、バスなどによる公共交通は、旧町地域から市役所等がある市の中心部へのアクセスや、合併に伴う主要施設の再配置に対応できていない状況である。

また、新市民病院の建設に伴い、市民要望に応えるため、利用者の利便性向上を図る公共交通を検討する必要がある。

バス等の利用者は年々減少傾向にあり、市民意識調査では、公共交通の利用頻度として「ほとんど利用しない」市民が約7割を占め、利便性満足度は低く、半数以上が不満としている。

このような中、バス事業等に係る行政負担は約43百万円（平成19年度額）となっており、費用対効果が低い状況である。

新市の一体化の醸成やバス等の公共交通機関の利便性の向上を図るため、新市民病院の建設位置や、合併後の再配置された主要施設を勘案した経路設定をするなど、多くの市民に利用されるように十分な検討を行う必要がある。